

文芸ひろば

詠歌の紹介

千代田俳句同好会

枯菊をひとくくりして紙の音
着ぐるみの児等におどけて秋うらら
甲高き鳥の声なり冬の雨
立冬のはてしなき空青くあり
名れ下げ古酒たふりと同期会
空晴れて何やらうれし今朝の冬
冬めきて田の蓮なべて腐れけり
大空の峰から峰へ小春風
茶の花や旧街道の道しるべ
気持ちよく寝る夜を思ひ蒲団千す

飯沼礼子
枝力
大西周
加藤貞江
熊沢鉄雄
小松崎緑
小松崎正生
榎井清志
坂井愛子
坂部幸子

投稿作品

弟も今は神戸のお寺にて父母と共に永久のねむりに
この冬までしまいに忘れし風鈴のちりんちりんとその音の寂し
筑波嶺の面にゆるくも霧ながれ狭路に映す炎のごとき紅
「い行こか」まだ見ぬ風景草紅葉友誘ふ日を楽しみにして
一の瀬の川面に映るすすきの穂千々に乱れて水に流さる

師走風悪しき事のみ大敵い迎える年は幸多かれと
棕櫚の葉で吊るす千し柿冬日和幼の記憶録り来る
裏山の紅葉色つき里の秋夕陽を受けて一際美わし
皇室にと生まれを誇る富育柿
夫が居たら狸親爺と家康を罵倒しそんな大河見ている
冬ざりて亡き夫想う葉に白き椿の七つ八つほど

▼投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集しています。
1月5日までに情報広報課(霞ヶ浦庁舎)へお願いします

小室貞江
名倉親子
岡田恭子
浜田留子
飯島ヒロエ

櫻井清流
沽野はつ子
石塚清
やまぐちいむ
菅谷味子
高橋フミ

》写真で振り返る合併10年



指定書を受け取る帆引き船実行委員会
[平成21年8月]

かすみがうら帆引き船まつり実行委員会が製作する「霞ヶ浦帆引き船模型」が茨城県郷土工芸品に指定されました。実物と同じ赤杉を主材料として、順風満帆に湖上を進む帆引き船の再現技術が高く評価されました。郷土工芸品の茨城県指定は、3年ぶりのことです[広報かすみがうらNo.53]。

》市民学芸員雑誌掲載

天狗党の最後

熱い思いを抱きながら豪雪と極寒と険しい北国街道の峠を越え、敦賀(新保宿)に辿り着いた天狗党を待ち受けていたのは、徳川慶喜だった。天狗党大将の武田耕雲斎は、失意の果てに降伏を選択した。裁判は宿敵の幕府の天狗党追討軍大将の田沼意尊、処刑執行も因縁の彦根藩士だった。天狗党隊士の斬首刑は、史上類を見ない大量の処刑と成ったが、その4年後の明治の幕開けの原動力になったのは事実だろう。維新後、尊攘派の薩長が政権を握ったが、横浜封鎖はおろか鹿鳴館で夷人達とダンスを踊る始末だ。結果的には正解と思うが、天狗派の尊王攘夷は何だったのだろう。今、資料館では特別展第3部を展示している。いよいよ面白ってきた。皆さんもご覧ください(桂木郁夫)。

1 市長を本部長とする災害対策本部設置訓練
2 自衛隊による炊き出し
3 救急隊による応急救護指導
4 災害対応型自動販売機を体験する参加者
5 自衛隊員から防災資機材の説明を聞く参加者
6 水の消化器を使い、初期消火訓練を行う子どもたち
7 炊き出しの豚汁をおいしそうに食べる子ども



災害から身を守る

総合防災訓練

11月9日、本市においても甚大な被害が予想されている首都圏直下型地震またはその他の災害に対し、関係機関や地域住民との相互協力体制の緊密化や市民一人ひとりの防災への理解と防災意識の高揚を図るために行われました。

災

害対策本部の設置や情報伝達訓練、避難所の開設運営、避難者の受け入れ、避難訓練、職員参集訓練、市民体験型訓練などを内容とする「総合防災訓練」が千代田中学校をメイン会場に、市内全域で行われ、計986人が参加しました。

訓練は、午前9時に茨城県南部を震源とする直下型地震が発生、市内で震度6強を観測し、市内に甚大な被害が出たため避難する想定。千代田庁舎の停電復旧訓練後に、坪井市長を本部長とする災害対策本部を設置し、避難所の開設を指示。市民に避難所開設の広報を行い、各行政区が避難訓練を実施しました。

メイン会場の千代田中学校では、応急救護指導や煙体験、消化器体験、災害対応型自動販売機体験などが行われ、参加者は真剣なまなざしで訓練に臨んでいました。また、子育てひろばに参加している親子も消化器体験などを行いました。特に消防車や救急車、自衛隊の車両に興味を持つ子どもが多かったようです。

閉会式では坪井市長が「訓練に参加し、それぞれ感じたこと、思ったことが多々あったと思いますので、それを災害発生時に生かしていただきたいと思います。市も、改善などを加えながら、より実効性のある訓練を提供していくことを目指していきます」と講評し、防災訓練を締めくくりました。

